

整理収納アドバイザー 1 級試験

2 次審査（面談・ファシリティ体験報告書）の手引き

2024.03.22 改訂版

2次審査では、【実作業編】・【提案編】のどちらかを選択し、対象となるクライアントおよび整理収納のテーマについて考えていただき、面談の実施後にファシリティ体験報告書を提出いただきます。

＜面談＞

面談では、取り組もうとしている作業や提案の内容について質問やサポートをします。

(個別面談 1人 10分 ZOOM 利用 ※事前説明・待機時間含め 最大 90分)

既に作業や提案が終了しているまたは進行中の場合は、その内容についてお聞きします。

試験官より以下の質問がありますので考え方をまとめておいてください。

当日はご自身で用意したメモ等を見ながらお話ししいただいても構いません。

整理収納アドバイザー 1 級試験 質問内容

1. 実作業編・提案編のどちらにするか
2. 誰をクライアントにするか（誰に対して提案するか）
3. どんなテーマにするか、どこを対象にするか
4. その作業(提案)をするにあたりどんな課題や問題があると思うか
5. その作業(提案)によってどんな効果をもたらせると思うか

実作業編

自分以外の第三者（家族可）をクライアントに決めます。

知人宅・職場・実家・自宅などで、テーマに沿ってクライアントが抱える問題点の解決に向けて、整理収納アドバイザーとしての実践体験を行っていただきます。

クライアントに対してどのようなファシリティが出来たのか、アドバイザー自身がどのように成長が出来たのかを、ヒアリングや作業手順や内容、使用した整理収納アドバイザー理論、改善点や効果、などを含め具体的にまとめてください。

※自分が使いやすいという視点だけで作業されたものは不可となります。

提案編

自分以外の第三者（家族可）をクライアントと設定します。クライアントは特定の個人、または「1人暮らしの30代女性」のようなターゲット層でもかまいません。

問題点を指摘し、解決に向けた整理収納法についてのご提案をしていただきます。

クライアントに対してどのようなファシリティができるのか、そこから得られる意識改革や効果、アドバイザー自身の成長についてなど、作業手順や方法、整理収納アドバイザー理論を含め、ご提案として有効なプランを具体的にまとめてください。

※過去に作成済みのプランや、理論を並べただけの内容、セミナー内容等は不可となります。

<ファシリティ体験報告書>

面談を受けた日から 30 日後までにファシリティ体験報告書をご提出ください。

クライアントが抱える問題点を具体的にし、整理収納アドバイザー準 1 級・2 級の理論を使ってどのように実践しどのような効果を得られたかについて作成してください。

文字だけでなく写真やイラストなどがあるとより分かりやすくなります。

提案編の場合も、想定した相手に対しどのような提案をし、どのような効果が期待できるかについてまとめてください。

※ファシリティ体験報告書の中で優秀なものは、年 1 回行われる「整理収納コンペティション新人賞」に推薦されます。

【ファシリティ体験報告書及び認定証用顔写真の提出形式】

枚数：表紙+A4 相当の資料 10 ページまで（合計 11 ページまで）

形式：PDF、Word、Excel、PowerPoint のいずれかのファイル形式、手書き可

顔写真：jpeg(jpg)形式 サイズ指定なし 正面向き 無帽・無背景であればご自身での撮影可

【表紙について】

資料の最初のページに必ず表紙として下記内容を記載してください。

必要事項が含まれていれば書き方に指定はありません。

<表紙記載例>

整理収納アドバイザー 1 級試験
ファシリティ体験報告書

2023 年 2 月 27 日

しゅうのう はなこ
収納 花子

実作業編

【テーマ】
スッキリ使いやすくなったキッチン収納

【クライアント】
3 人の子供の子育てに追われている
30 代主婦 S さん

【提出方法】

メールに提出物 2 点を添付してお送りください。

- ファシリティ体験報告書
- 認定証用顔写真

送信先：2jishinsa@gmail.com

件名：1 級ファシリティ体験報告書

メール本文中にもお名前と、面談を受けた日の記載をお願い致します。

【提出期限】

締め切り日までに必ずご提出ください。

※HP の各日程の連絡事項欄と 2 次審査お申し込み後のメール本文に記載してあります。

※提出期限を過ぎますと審査を受けることができませんのでご注意ください。